

平成28年 2月23日（火）

津島市生活産業部産業振興課（中嶋、村松）

電話番号 0567-24-1111（内線 2250、2252）

～春の訪れを告げる炎の祭典～

開扉祭（おみとまつり）が開催されます

開扉祭は、旧暦 2月 1日に行われる大きな松明を用いた津島神社の祭事で「おみと」とも呼ばれています。

江戸時代の史料『張州雑志』のなかの『藤嶋私記』（真野時綱著）では、由貴供祭と称しており、俗に「御戸開き神事」とも呼ばれながら、春を告げる祭として長年地域の人々に親しまれてきました。

1 日 時

平成28年 3月 9日（水）（旧暦 2月 1日）

午後 7時 ～

2 場 所

津島神社（神明町 1番地）

3 内 容

葭で作った大松明 一対（直径 1 m、長さ 10m）を東鳥居前で点火し、それぞれ 25人の担ぎ手（地元消防団）がかつぎ、参道を練ったのち、炎が赤々と燃え盛るまま、二本揃って楼門を潜り抜け、拝殿前にかつぎ据えられます。

古くより、大松明の燃え残りは、雷除け・田畑の虫除け・災難除けの御守、箸として使うと歯痛止めの効き目があると、参拝者は争って持ち帰ります。

4 主 催

津島神社

後援 津島市消防後援会 他

5 その他

「津島神社開扉祭のおおたいまつぎようじ」は、平成27年 6月 26日に市の無形民俗文化財に指定されました。